

Car Entertainment Magazine **GENROQ**

[ゲンロク]

2021
MAY | 5
No.423
定価 998Yen

SEDAN WORLD

新型Sクラスの実力

ドイツ御三家のSセグメント新時代

メルセデス・ベンツSクラス／BMW 7シリーズ／アウディA8

BMW M3はポルシェ911を
超えたのか!?



[初試乗]

ランボルギーニ・シアン
BMW M4

[ニュルブルクリンク・アタック]

ポルシェ911ターボS

スーパーカー／NSX特選ショップ

REPORT・石川大輔(Ishikawa Daisuke) PHOTO・白谷 賢(Siratani Ken)

今、SUV人気が凄まじい。都内を走れば右も左もハイドが高くて、い欧洲車……というシーンに出くわすことも珍しくなくなった。利便性が高くオシャレ度も抜群。さらにプレミアムモデルでも、イヤミなくさりと乗れるのが人気の理由である。

いいこと尽しなのだから、選ぶ人が増えるのもうなしきる。売れるからメーカーも力が入り、魅力的なモデルを続々と市場に投入してきているという状況だ。

ただ、オーナーとしては心中が複雑なのも確か。プレミアムSUVが市井に増えるほど、愛車が埋没してしまうからだ。クルマ好きはできるだけ被るのは避けたいと思うもの。自分流にカスタムしよう、食指が動くのも当然の流れといえる。

でつとり早く差を付けられると頭

同じ靴を履く人気者の共演 センスは細部に宿る

に浮かぶのがホイールの交換。確かに、ひと昔前ならインチアップすればエバーレーマーだが、近頃の純正ホイールはそもそもサイズが大きいうえに凝ったデザインが増えてきた。そんな背景もあってか、今どきのデキるカスタマイズ上級者は、ホイールの仕上げ、差を付ける。そう、オーダーメイド仕立ての一本だ。

と言うのは簡単でも、カラーやサイズを吟味しながら、センスよく仕上げるのは決して容易ではない。

人気モデルは、いずれもブラックボディに映える「HF-LMC」の24インチをさらりと履きこなす。ハイパーフォーリジッドの新境地ともいえる、変則10スポークデザインを採用したこのホイール。センターキャップ周辺の肉を徹底的に削ぎ落としたうえで、リムエンドへと伸ばしたスポーツが、大胆かつ繊細な意匠を生みだしている。

ボディが大きいSUVではその存感に負けない骨太なスポーティを選びたくなるもの。細身のメッシュス

ハイパーフォーリジッドはそんな目の肥えたユーザーから圧倒的な支持を集めてきたブランドだ。日本で生み出され、輸入車のカスタムシーンを牽引してきた鍛造削り出しホイールは、多彩なサイズ＆カラーバリエーションを誇る。

ここで紹介するのはレンジローバースポーツとメルセデス・ベンツGLE400dスポーツ。いずれも走りの色を全面に押し出したプレミアムSUVである。似で非なる2台のこの2台が証明している。

ボーケでは足元に頼りなさが出てしまったそうであるからだ。しかし、それはまったくの杞憂であることが、この2台が証明している。

これがほどの存在感を達成した秘策はなにか？ 那はカラー＆フィニッシュが秀逸であるからにはほかない。いずれも鍛造ならではの素材感が際立つブラック仕上げとなるが、特筆すべきはスポーツ側面のえぐり部分に3Dブラック加工を施していること。

あまり聞きなれない仕上げだが、



←メルセデス・ベンツGLEのフェンダーラインに絶妙なツライチ加減で収められた「HF-LMC」が、まるでボディと一緒にしているかのような融合をみせる。コンケイブが効いたスポーティデザインも、足元の迫力を増すのに役立っている。



ハイエンドクラスに相応しい上質さとアグレッシブな力強さを融合させたデザイン。スポーティ天面と内側でフィニッシュが異なるのが、お分かりいただけるはず。美しいそのデザインは、光の当たり方や見る角度で様々な表情をみせる。

| PRICE LIST | |
|---------------------|-------------------|
| HF-LMC (24inch SUV) | |
| 24インチ (9.0J~12.5J) | 29万5000円~37万8000円 |

*価格は税別。SemiConcaveのみの設定。



→鍛造の素材感を活かす独自の表面処理技術により、類を見ないエッジ感を実現したハイパーフォーリジッド。ホイールの高性能についてはもや説明するまでもないだろう。きめ細やかなフォローブレーキも人気の所以だ。



HyperForged HF-LMC (24inch SUV) for RANGE ROVER SPORT Mercedes-Benz GLE